



第5回ジャパンメトロポリタン模擬国連大会報告

NO.67

2月9日(土)～10日(日)に渡り、川崎市の洗足学園において第5回ジャパンメトロポリタン模擬国連大会が開催され、本校からは中学生が10名、高校生が4名参加しました。この大会の特徴は参加者の経験に応じて初級、中級、上級から議場を選択できるようになっており、海城生は中級議場に6ペア、上級議場に2ペアがチャレンジしました。会議中は公式討議は英語で、非公式討議は日本語で行われることが多いのですが、本大会の中級・上級議場では非公式討議も英語で行われます。こうした事情もあって特に上級議場ではインターナショナル校の生徒諸君が多く参加しています。日本の学校の生徒にとってはハードルが上がるこの議場においてドイツ大使として参加した高校2年飯野諒平君、中学3年持田隼人君が優秀賞に相当する“honorable mention”を受賞しました。Combating Populist Nationalism という議題に挑んだ両名から原稿を寄せてもらいました。

中学3年2組 持田隼人

今回僕たちは“Combating Populism”という議題の下、ドイツ大使として参加しました。議題についてサクッと説明しますと、文字通りポピュリズム政党、政策やその潮流に国際社会はいかにして立ち向かうべきかについての議論をします。ポピュリズムは日本語では大衆迎合的や大衆主義とよく訳されますが、ご存知の通り、ドイツは今ポピュリズムという大きな潮流の中央にいる国で、そのメリットとデメリットをともに強く感じている国家です。このネームバリューを含む特性を生かした政策を立てようと考えました。例えばドイツが直面している移民難民問題と、ポピュリズムを関連付けて考えることで、単にポピュリズムについて話すだけでなく、より包括的な広範囲に及ぶ政策を提示しようと思いました。また、国際協調が必要であると主張することで、世界全体がこの問題に一体となって取り組める体制を作ることを目指しました。

一方で当日の会議では、このような国際的な枠組みを通じた政策よりも、各国政府が独自に対応すべきだという意見が議場を占めました。ドイツは会議中、この多岐にわたる問題に国際社会全体が取り組むことが適切である、と強調しましたが、なかなか折り合いがつかず、最終的に相手側の意見が多く通ってしまう結果となりました。

このように、一見誰もが問題であると認識しているように思える問題であっても細かく見れば政府のスタンスは微妙に食い違っており、改めて国際問題についてすべての国の合意を得ることの難しさを体感できました。

ただ今回の会議は、今までの中で模擬国連としての完成度は最も高かったと思います。資料の準備や当日の交渉、スピーチなど、いつもの模擬国連とは違う形式であっても柔軟に対応した結果の優秀賞として、とても前向きにとらえています。この経験を今後の洗足の会議でも、普段の練習会議でも生かし、さらに自己研鑽に励んでいきたいです。

また、この会議で引退された飯野先輩、長い間本当にありがとうございました。

高校2年8組 飯野 諒平

インターや海外から来た高校生で大半が満たされる上級会議で、英語力の差はどうしようもありません。そこでドイツ大使は、どれだけ公式討議でのスピーチで大勢を説得し、全会一致を目指せるかということを重視しました。数十通りのパターンに分かれたスピーチを大量に準備し、ほとんど使い果たすほど発言をしました。

最優秀賞を受賞された生徒と最後は一騎討ちと言っていいほどスピーチをお互いに交わしましたが、最後の最後で競り負けてしまったことは悔しいです。しかし「模擬国連」には、会議での活躍や、賞の受賞よりも、「中高生が行うこと」に意味があると思います。

中高生が行う模擬国連では現実世界では有り得ない政策が多発します。そんな政策は現場で活躍される本当の大使たちからは馬鹿にされるかもしれませんが、現実世界での政策は常に上手く行っているでしょうか？秩序や平和を常に考慮し、偏見や自国益が含まれる現実的な政策は必ずしも上手く行ってません。模擬国連で出てくる政策は、例え実行されなくとも、柔軟でユニークな発想を持つ中高生だからこそ思い付く政策が含まれていると思います。今後更なる混乱や無秩序が起こるであろうと言われているからこそ、次世代を担う私達が実際に問題に対処する際、柔軟に考え、議論しあい、良い解決策を生み出す力が大切だと思います。色々な意見が多発したこの会議に参加して、このような力が「中高生だけで行う模擬国連」を通して培われているのだ、と改めて感じました。



海外大学進学外部講演会情報

河合塾と海外大学・大学院進学を目指す学生のための専門学校であるアゴス・ジャパン(AGOS JAPAN)がタイアップして海外大学進学を目指す生徒とその保護者を対象にした講演会の案内が届きました。当日のスピーカーとして平成25年度海城高校卒業の大村崇寛さんが登場するそうです。参加無料ですが、事前予約が必要になります。この件については本校は仲介はしませんのでご興味のある方は個人的にお申込み下さい。

日時：3月17日(日) 午前11時～午後13時

場所：AGOS×K 新宿校

対象者：中学生・高校生で海外大学進学に興味のある方
保護者だけでも参加OK

ゲスト：大村 崇寛さん(海城中学高等学校卒業後、アメリカのリベラルアーツカレッジの Grinnell College で心理学を専攻し、2017年5月卒業)

セミナー内容：海外大学を志したきっかけ

TOEFL®TEST や SAT®の点数の伸ばし方、勉強の仕方

出願書類

留学中の様子

現在のお仕事や就職活動について

海外の大学に進学する意義について

費用：無料

事前予約：ネット予約 <https://www.kawai-juku.ac.jp/kaigaidai/event/> イベント紹介ページにジャンプ

電話予約：03-3364-9557

主催 AGOS×K 新宿校 (学) 河合塾

〒160-0023 新宿区西新宿7-15-2

月・水～土 14:00～20:00 火曜日休館

日 10:00～17:00

次ページのちらしがあまり鮮明に印刷されていないかと思しますので、PDFデータを印刷したものを差し上げることができます。興味のある生徒諸君はグローバル教育部まで取りに来て下さい。金曜日は常駐する担当者が不在となります。

リベラルアーツ全米トップ大学卒業生による 海外大進学対策・留学体験談セミナー

3/17
(日)

11:00～13:00

「出願までの道のり」、「志望大学の選び方」、「リベラルアーツカレッジの魅力、特色や奨学金」、「就職活動や今のお仕事」など、実際に在籍・卒業した日本人の先輩だからこそ参考になる、今回ここでしか聞けない情報を入手しよう！

是非、お子様、保護者様、ご友人をお誘いのうえ、ご参加下さい。

「日本の高校から全米トップ難関校に進学するには？」「合格のためにどんな勉強をしたの？」など複雑な観点で審査が進む米国の入学審査についてもお話しいたします。

対象(限定)：中学生・高校生で、海外大学進学に興味のある方
※保護者の方だけでもご参加いただけます。

セミナー内容：

- ・海外大学を志したきっかけ・理由
- ・TOEFL®TESTやSAT®の点数の伸ばし方、勉強の仕方
- ・出願書類に関して(志望理由書・推薦状・課外活動・面接など)
- ・海外の大学について、留学中の様子
- ・現在のお仕事や就職活動について
- ・海外の大学に進学する意義について

*スタッフより、AGOS×Kのプログラム・サービスの説明もいたします。



ゲスト：大村 崇寛(おおむら たかひろ)さん
(私立海城中学高等学校 出身)

Grinnell College 心理学専攻
(2017年5月卒業)

【紹介文】

4年間にわたり返済不要の奨学金を学校からうけ、17年9月より外資系コンサルティングファームで営業・マーケティングのコンサルタントとしてご活躍中。

※ゲストのお仕事の都合上、イベントの延期またはゲスト変更が発生する場合があります。



TOEFL(R)は、Educational Testing Service(ETS)の登録商標です。SAT(R)は、College Boardの登録商標です。This publication is not endorsed or approved by ETS.

☆海外大合格、成功のポイントは早期スタート! ☆

海外大進学に興味がある方は、ぜひ親子でご参加ください。

<ネット予約> <https://www.kawai-juku.ac.jp/kaigaidai/event/> (イベント紹介ページに遷移します)

<電話予約> 03-3364-9557

AGOS×K 新宿校 * (学) 河合塾主催
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-15-2
月・水～土 14:00～20:00 休館日
日 10:00～17:00 火曜日

河合塾



2019.1.27.